

矢島高等学校 中期ビジョン（5か年計画）

1 学校の現状や課題

現 状

- ・平成21年度より校舎一体型中高連携校としてスタート
～中高連携のパイオニア校としての役割～
- ・1学年2学級（定員70名、2年次より文理・地域創造の2コース、
文・理・ビジネス・福祉の4系統）
- ・生徒の進路の多様化
四年制大学（6%）短大（8%）専門学校（34%）公務員（8%）
就職（42%）その他（2%）（※ 数値は過去3年間の平均）

課 題

- ・キャリア教育の充実と学力向上
- ・地域活性化に寄与できる活力ある学校づくり
- ・中高連携校としての先進的な取組の充実

2 学校を取り巻く将来の状況の予測

近隣3中学校（矢島中、烏海中、由利中）の卒業予定者数

平成28年3月卒 124名	平成32年3月卒 97名	平成36年3月卒 79名
------------------	-----------------	-----------------

矢島烏海地区の少子高齢化の進展

年少人口（0～14歳） 8.1%（県平均10.6%）

減少傾向

老年人口（65歳以上）38.6%（県平均33.7%）

増加傾向

3 目指す方向性や学校像

地域に根ざし、一人一人を大きく伸ばす
未来志向の学校

めざす学校像

- ・生徒と職員がともに学び感動を共有できる学校
- ・地域に愛され、必要とされる学校

学校力向上

体験活動の充実
中高連携教育の充実

めざす生徒像

- ・自尊心を持ち、他を思いやることができる生徒
- ・目標に向かって努力することのできる生徒

4 5年間を通しての具体的目標

学校力向上プログラム

生徒を伸ばす学習指導

自ら学ぶ意欲の醸成、わかりやすい授業の工夫

(生徒による授業評価 90%以上)

- ・授業内での言語活動の充実
- ・地域の特色を生かした体験学習の進展
- ・添削指導など個に応じた指導の充実 (生徒満足度 90%以上)
- ・生徒の思考力を伸ばす朝読書の活用

心に響く生徒指導

生徒の退学ゼロ、出席率95%以上

- ・「一日一善」の実践 (自己有用感、自己肯定感の向上)
- ・生徒による朝の挨拶運動 (明るい挨拶、規律正しい生活の励行)
- ・情報モラル教室の開催 (互いの人権尊重と良好な関係づくり)
- ・生徒の心に寄り添う個人面談・教育相談、生活アンケート年3回以上

自己実現に向けた進路指導

卒業時の進路決定率100%

- ・進路目標を明確にする個人面接や職業人講話等の充実
- ・資格取得対策の補習や個別指導の徹底
- ・外部の学校関係者による面接指導の充実

教師力を高める研修

教員の実践力向上

- ・日常的な互見授業の実施
- ・生徒による授業評価の定期的な実施とフィードバック

中高連携教育の充実

中高連携教育の推進

- ・相互乗り入れ授業や中高教員によるT・T授業の実施
- ・定期的な中高の授業参観
- ・中高連携行事の充実 (鳥海山登山、避難訓練他)

地域活性化の核づくり

地域に根ざした活動の充実

- ・地域の自然・歴史・文化を学ぶカリキュラムの充実 (地域学、鳥海総合)
- ・地域に密着したボランティア活動
- ・地域主催行事への積極的な参加、学校行事の地域公開
- ・地域産業への提案、協力 (ボランティアプロジェクト等)